

2014年度 老人大学生会総会での挨拶 5月29日

新年度の第1回学生会総会が盛会裏に開催されますことをお慶び申し上げます。本学は昨年度創立40周年を迎え、学生会の全面協力をいただいて様々な記念事業に取り組んできました。

とりわけ「時と風の塔」の建立は、これからも末長く老人大学の時を刻み、日々の温度を示し続けていくこととなります。

なお、長年にわたり本学生会の運営をリードされてきた剣持会長がこの度、退任の意向を表明されています。剣持会長は、毎日のように登校されて私の相談にも応じて下さいました。そして事務局とともに本学運営の両輪を担って下さいましたことにお礼を申し上げます。

今年度の老人大学は、創立50周年に向けた新たな10年の歩みの第1歩を踏み出しました。事務局は事務長がを交代し、2名の新しい職員を迎えました。また、事務室入口のガラスを透明な物に入れ替えて、見える化を進めました。

学生会はどのような新しい歩みをされるのか期待をいたしております。

いずれにしましても、学生の皆さんには、「健やか・穏やか・和やか」な学生生活を、さらに「自分達で出来ることは自分達です」ことにも心がけていただきたいと思っています。

そして、スムーズに新体制を整えていただきますことをお願いいたします。

学生会が、私の大学運営の志をご理解いただき、ご協力賜わりますことをお願いして、ご挨拶といたします。